

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

＜資産証券化商品＞ 三菱 UFJ 信託銀行 CLL 海外 BP 2018-1

【新規】

ABL 格付

AA-

■格付事由

1. スキームの概要

- (1) 本件は、単一債務者を参照体とするクレジットデフォルトスワップ（以下、CDS）契約、金利・通貨スワップ（以下、IRS）ならびに日本国債を裏付けとした信託 ABL である。
- (2) 受託者は、委託者より信託された金銭を裏付けとして受益権を設定する。また、受託者は ABL 投資家から受託者の信託勘定に対して実行された貸付（以下、本 ABL）を原資として、日本国債（以下、信託債券）を購入する。
- (3) 信託債券の購入にあたり、受託者は、個別参照体に係る CDS 契約ならびに IRS 契約を、スワップカウンターパーティと締結する。当該スワップ契約により、信託債券および期中の本債券利息支払いのための金銭の交換を行う。
- (4) 受託者は、CDS 契約によりスワップカウンターパーティから支払われる CDS プレミアムと、IRS 契約により支払われる金銭を原資に、本 ABL の利息を支払う。
- (5) クレジットイベントが発生しなかった場合には、受託者は信託債券の償還金で ABL 貸付人に本 ABL を返済する。
- (6) クレジットイベントが発生した場合には、受託者は信託債券を処分し、CDS 契約ならびに IRS 契約を清算した上で、残金を本 ABL 返済に充てる。

2. 仕組み上の主たるリスクの存在

(1) 個別参照体の信用リスク

個別参照体にクレジットイベントが発生した場合には、CDS 契約ならびに IRS 契約清算後の資金により本 ABL が返済されるため、本 ABL の返済原資が毀損するリスクがある。

(2) 信託債券のリスク

信託債券にデフォルトが発生した場合、本 ABL への返済原資が毀損することとなる。

(3) スワップに関するリスク

受託者兼 ABL 借入人たる受託者は、スワップカウンターパーティとの間で CDS 契約、IRS 契約を締結しているため、本 ABL の元利払いについては、スワップカウンターパーティの信用力の影響を受ける。

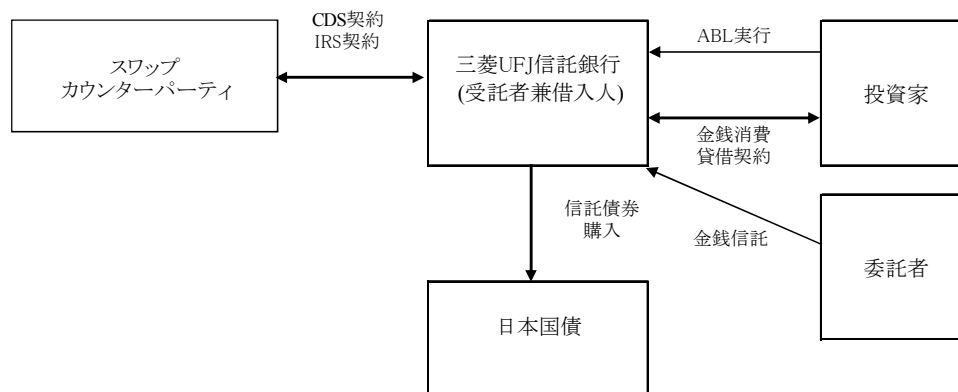
3. 格付評価のポイント

(1) 損失、キャッシュ・フロー分析および感応度分析

- ① 本 ABL は、i) 個別参照体のクレジットイベントの発生、ii) 信託債券のデフォルト、iii) スワップカウンターパーティのデフォルトの各事象が発生した場合、約定どおりの元利支払に影響を受ける可能性がある。

- ② 裏付資産、CDSプレミアム、IRSからの受取金と本 ABL の約定上のキャッシュフローのミスマッチは認められない。
- ③ 以上より本 ABL の格付は、信託債券である日本国債、個別参照体の長期発行体格付およびスワップカウンターパーティの長期発行体格付のうち、最も低い格付が変更となった場合には、連動して変更される。
- これより、信託債券である日本国債、個別参照体の信用力およびスワップカウンターパーティの信用力のいずれか低いほうに収斂・連動するものとして、本 ABL の格付を「AA-」と評価した。

【スキーム図】



(担当) 菊池 理恵子・古口 雄介

■格付対象

【新規】

対象	ABL 実行金額	劣後比率	予定返済期日	クーポン・タイプ	格付
三菱 UFJ 信託銀行 CLL 海外 BP2018-1	2,000 万米ドル	-	2028 年 12 月 22 日	固定	AA-

<発行の概要に関する情報>

ABL 実行日	2019 年 3 月 29 日
返済方法	満期一括返済
流動性・信用補完措置	なし

<ストラクチャー、関係者に関する情報>

委託者	未公表
受託者兼借入人	三菱 UFJ 信託銀行株式会社
スワップカウンターパーティ	未公表
アレンジャー	BNP パリバ証券株式会社
個別参照体格付	未公表
個別参照体所在国	チリ
個別参照体業種	未公表

<裏付資産に関する情報>

裏付資産の概要	日本国債、クレジットデフォルトスワップ契約、金利・通貨スワップ契約
---------	-----------------------------------

格付提供方針に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2019 年 3 月 28 日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：杉山 成夫
主任格付アナリスト：菊池 理恵子
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準については、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014 年 1 月 6 日) として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法(格付方法)の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関

連情報」に、「クレジットリンク商品」（2012年12月3日）の信用格付の方法として掲載している。回収金口座や倒産隔離など他の付随的な論点についても上記のページで格付方法を開示している。

5. 格付関係者：

(オリジネーター等) ビー・エヌ・ピー・パリバ
(アレンジャー) BNPパリバ証券株式会社

6. 本件信用格付の前提・意義・限界：

本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。

本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。JCR は、格付付与にあたって必要と判断する情報の提供を発行者、オリジネーターまたはアレンジャーから受けているが、その全ては開示されていない。本件信用格付は、資産証券化商品の信用リスクに関する意見であって、価格変動リスク、流動性リスクその他のリスクについて述べるものではない。また、提供を受けたデータの信頼性について、JCR が保証するものではない。

本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。

7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：

格付対象商品および裏付資産に関する、関係者から入手した証券化関連契約書類

なお、上記については関係者が証券化関連契約書類上で情報の正確性に関する表明保証を行っている。

8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：

JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、いずれかの格付関係者による表明保証もしくは対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。

9. 資産証券化商品の情報開示にかかる働きかけ：

(1) 情報項目の整理と公表

JCR は、資産証券化商品の信用格付について、第三者が独立した立場で妥当性を検証できるよう、裏付資産の種類別に、第三者が当該信用格付の妥当性を評価するために重要と認められる情報の項目をあらかじめ整理してホームページ上で公表している。

(2) 情報開示にかかる働きかけの内容及びその結果の公表

JCR は、本資産証券化商品の格付関係者に対し、当該資産証券化商品に関する情報（上記の情報項目を含む。）の開示を働きかけた。

働きかけの結果、格付関係者が公表に同意した情報の項目について、JCR は、格付関係者の委任を受け、格付関係者に代わりここで当該情報を公表する（上記格付事由及び格付対象を参照）。なお、公表に対して同意を得られていない情報の項目については、上記格付事由および格付対象の箇所未公表と表示している。

10. 資産証券化商品についての損失、キャッシュフローおよび感応度の分析：

格付事由参照。

11. 資産証券化商品の記号について：

本件信用格付の対象となる事項は資産証券化商品の信用状態に関する評価である。本件信用格付は裏付けとなる資産のキャッシュフローに着眼した枠組みで付与された格付であって、資産証券化商品に関し (a) 規定の利息が期日通りに支払われること、(b) 元本が予定返済期日までに全額返済されることの確実性に対するものであり、ゲーティングコンサーンとしての債務者の信用力を示す発行体格付とは異なる観点から付与されている。

12. JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

■ 留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■ 用語解説

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

■ NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■ 本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル